

# 調査相談(レファレンス)事例紹介

# 13



## Question

昭和9年、群馬県内の小学校に勅使の御差遣があったと聞きました。  
それは、どこの小学校ですか？

さけん  
差遣…使者を差し遣わすこと（広辞苑より）



## Answer

昭和9（1934）年、群馬県で陸軍大演習が行われた際、北甘楽郡福島町（現甘楽町）にあった福島小学校に勅使の御差遣がありました。内容は、全校児童を対象とした学校給食に関するものでした。

昭和初期、県下農村部の貧困児童・欠食児童は増加の一途をたどっていました。昭和7（1932）年に行われた、ある小学校の弁当調査によると、17.2%の児童が弁当の持参なし、もしくは甘藷・饅頭のみという状態だったそうです。また、副食物（おかず）調査では、76%の児童が漬物や醤油・塩のみ、もしくは副食なし・欠食等という結果でした。

昭和7年9月に国が、全国一斉に学校給食を実施する訓令を出すと、群馬県でも「学校給食協議会」が組織され、同年11～12月にかけて学校給食が始まります。しかし、開始された学校給食は、貧困・欠食児童を対象にしたものがほとんどでした。そんな中、地域社会の連携のもと、全校児童を対象とした学校給食を実施したのが福島小学校でした。用意した調理設備は簡単なものでしたが、専任調理人もおり、県指導員の指導のもと、児童の栄養改善も考えられた給食でした。教師は児童と共に給食を食し、食物・栄養に関する訓育も行っていたようです。

このような学校給食の様子に昭和天皇は深く関心を寄せられ、勅使を御差遣されたとのことです。これを記念して、昭和15（1940）年には福島小学校内に「御使御差遣記念碑」が建てられ、平成30（2018）年には町指定重要文化財にも指定されました。



## 参考文献

| 書名                         | 責任表示  | 出版社      | 出版年  | 資料コード    |
|----------------------------|-------|----------|------|----------|
| ① 群馬県教育史 第4巻昭和編            |       | 群馬県教育委員会 | 1975 | 01901008 |
| ② 昭和九年十一月陸軍特別大演習並地方行幸群馬県記録 |       | 群馬県      | 1936 | 02145266 |
| ③ 農村地帯食物指導の研究              | 林勇記／著 | 三信堂出版部   | 1937 |          |
| ④ 学校給食と献立の栄養学              | 原徹一／著 | 三元堂書店    | 1935 |          |

③・④は当館所蔵なし。国立国会図書館デジタルコレクションで閲覧可能

今回ご紹介した他にも調査相談（レファレンス）事例をホームページに多数ご紹介しています。

【群馬県立図書館ホームページ＞調査相談＞調査相談事例・郷土人物データベース】

お問い合わせ：群馬県立図書館 〒371-0017 前橋市日吉町1丁目9-1 電話：027-231-3008